

コロナ解雇10万人超す

製造業と小売り・飲食で多く

厚生労働省が8日公表した集計結果によると、新型コロナウイルス感染症の影響による解雇・雇い止め（見込みを含む）の人数が、累計で10万人を超えました。7日時点で10万4255人。業種別では

製造業や小売り・飲食業が多くなっています。感染の「第4波」が迫る中で収束の道筋は見いだせておらず、これら業種を中心に雇用不安は収まりそうにない情勢です。解雇や雇い止めは、

昨年春の緊急事態宣言に伴う経済活動の停滞を受け急拡大。その後、8月高水準で推移し、8月に累計5万人を超えました。秋以降は増加の勢いが弱まり、月5000人台が続きました。

だが、年度末に当たる今年3月は9000人台に跳ね上がりました。2日時点の業種別集計によると、累計では製造業が2万人を超えて最も多く、小売り、飲食、宿泊もそれぞれ1万人台。都道府県別では東京、大阪、愛知の順に多くなりました。非正規雇用の労働者は全体の半数程度とみられます。